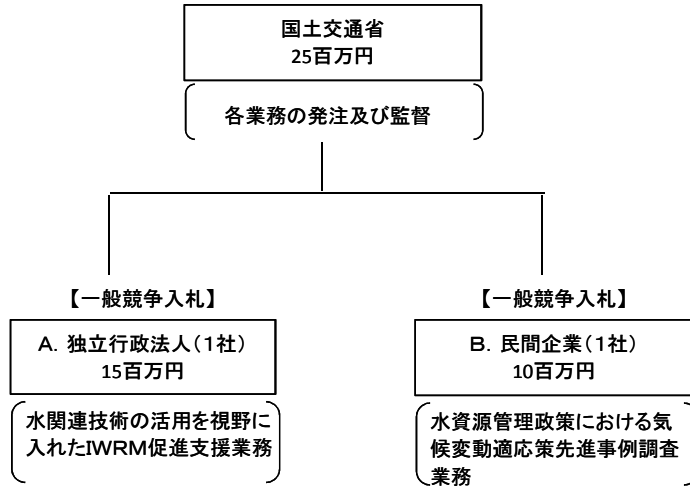


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	世界的水資源問題を踏まえた我が国の対応方針検討調査経費		担当部局	水管理・国土保全局 水資源部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	S60～		担当課室	水資源計画課		課長 宮崎 正信	
会計区分	一般会計		施策名	6 水資源の確保、水源地域活性化等を推進する			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水は代替のない貴重な資源であり、世界の水危機は、食料等を通じて膨大な水を依存している日本にとって安全保障に直結する課題である。そのため、我が国の世界の水資源問題に対する支援のあり方を検討し、世界の水問題解決に貢献し、またこれと合わせて、新成長戦略における、官民連携した国際展開を推進することを目的としている。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア・太平洋地域の水問題解決に向け、中国及び韓国の水資源政策担当部局との政策連携、情報共有及び政策交流を行った。 ・世界の水問題解決や我が国の国際展開に向け、国際会議を通じた情報発信及び情報収集を行った。 ・アジアの水問題解決や我が国の国際展開に向け、ワークショップ等を通じた具体的な政策対話や、アジアにおける総合的な水資源管理に関する検討調査を行った。 						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	46	43	43	51	46
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	46	43	43	51	46
		執行額	45	40	34	-	-
	執行率(%)	98.8	94.7	77.2	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	官民連携した国際展開に関しては、活動が成果として結実するまでに時間がかかるため、期間内の成果を図ることが困難。		成果実績 達成度				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	世界的な水問題に対応するための国際会議等の開催及び参加件数		活動実績(当初見込み) 件	11	11	12 (12)	- (13)
単位当たりコスト	①国際会議等の参加に要する1件当りの経費 530,492円/件 ②国際会議開催等に要する1件当りの経費 1,602,875円/件		算出根拠	① 5,835,409円(職員旅費決算額)÷11件=530,492円/件 ② 1,602,875円/件(日中水資源交流開催経費:1件)			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	8.362	8.374	調査費の見直しによる減額。			
	水資源対策調査費	42.555	37.406				
計	50.917	45.780					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年度の業務発注については、より競争性を高めた契約手続き(総合評価落札方式)を採用することにより、効率的・効果的で競争性を確保した予算執行を図った。		
予算監視・効率化チームの所見			
		引き続き効率的な事業実施を図るとともに、我が国の水ビジネスの国際展開の推進に貢献できるよう、調査内容の重点化や他の施策との連携を図る。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
引き続き効率的な事業実施を図ることとし、我が国の水ビジネスの国際展開の推進に貢献できるよう、国際会議等を十分に活用するとするとともに、調査内容の重点化や水関係部局との連携強化を図る。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
なし			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(独)水資源機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
直接人件費等	直接人件費、直接経費	7.2			
諸経費	諸経費	5.2			
技術経費	技術経費	2.4			
計		14.9	計		0
B.特定非営利活動法人日本水フォーラム			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
直接人件費等	直接人件費、直接経費	3.9			
諸経費	諸経費	3.7			
技術経費	技術経費	2.2			
計		9.8	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)水資源機構	水関連技術の活用を視野に入れたIVRM促進支援業務	15	2	82.3
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人日本水フォーラム	水資源管理政策における気候変動適応策先進事例調査業務	10	1	97.9
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					